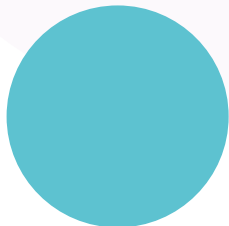




Focus on the Future



私たちが目指すのは、「感動」と「安心」で満たされた社会です。

それは、一枚の写真やワンシーンの映像に込めた想い。

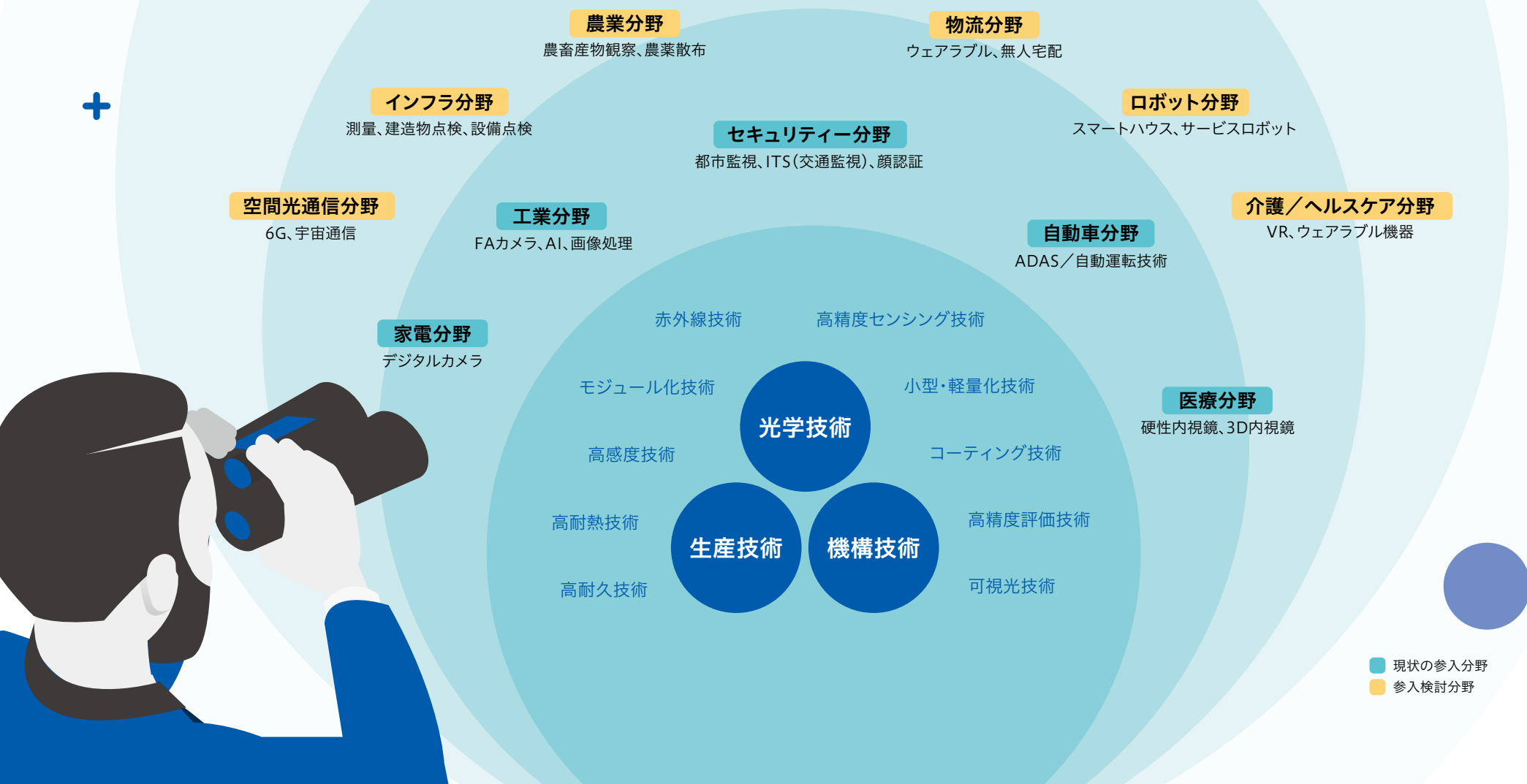
それは、大切な人と一緒に、笑顔で暮らす毎日。

それは、豊かさを感じながら、健康に歩いていける人生—。

タムロンは、光学技術でサステナブルな未来に貢献します。



テクノロジーを次世代のソリューションへ タムロンの技術は、“撮る”から“測る”へと進化します



写真機・双眼鏡レンズのメーカーとして創業したタムロン。
培った光学技術により、一眼レフカメラの交換レンズを主力製品として、
自社ブランドおよび製品メーカーのOEMで事業を拡大してきました。

その後、動画撮影の普及とともに、ビデオカメラ用レンズを開発するほか、
焦点距離の拡大と製品の小型・軽量化を実現し、
高倍率ズームへの技術革新により、業界での地位を確立しました。
写真や映像を“撮る”ためのユニークな製品を次々に開発し、
現在はミラーレスカメラ用を中心に、毎年、新製品を市場に送り出しています。

一方、セキュリティへの関心の高まりから、監視カメラ用レンズの開発に着手。
工場の自動化・省人化を目的とするFAを光学技術で支援するほか、
自動運転の普及に向けた高性能な車載用カメラレンズの開発や、
困難な手術や遠隔医療、肉眼では見えないガン細胞の観測など
今後のニーズ拡大が期待される、ライフサイエンス分野を支援してきました。
さらに、被写体の画像だけでなく温度を検知する「遠赤外線カメラモジュール」など
数多くの実証実験に参画しながら、事業領域を拡大しています。

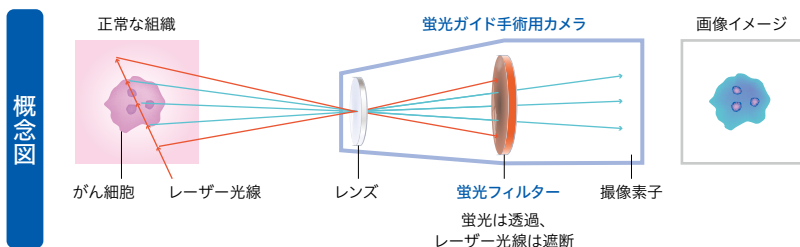
タムロンの技術は、“撮る”から“測る”へ。

人々が感動と豊かさで満たされ、健康で安全に暮らせる世の中を目指して。
これからも、タムロンは光学技術で社会課題の解決を支援します。

タムロンの測る技術 開発・生産中の新技術

1 がん細胞を測る、蛍光フィルター

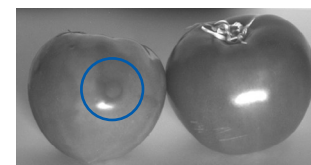
識別しづらいがん細胞を鮮明に可視化し精度の高い手術を実現する「蛍光ガイド手術」で、重要な役割を果たす蛍光フィルターを開発・生産しています。



2 水分量を測る、SWIR(短波赤外光)レンズ

検査対象物を破壊することなく水分量を測ることができる「SWIRレンズ」で、農業現場での省力化、省人化、作業者の負担軽減に貢献しています。

打痕を負った果物は内部に多くの水分が滲みでているため、モニター上で濃く表示される個体を排除することが可能となり、出荷作業の自動化、簡易化を図ることが可能になります。



打痕を負った箇所

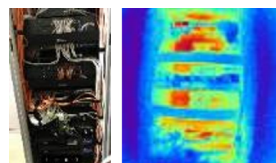


SWIR(短波赤外光)レンズ

3 熱を測る、遠赤外線カメラモジュール

「遠赤外線カメラモジュール」は物体から放射されている遠赤外線の放射量を捉え可視化し、温度変換処理をすることで、機器や設備の過熱情報などを監視することが可能です。

バイオマス発電所において、温度が異常上昇しやすいバイオマス燃料倉庫、バイオマス燃料投入時のボイラー、発電タービン等の場所での温度監視に役立てられ、安全に発電できるよう日々稼働しています。



(左)設備・機器 (右)熱監視



遠赤外線カメラモジュール

4 距離を測る、センシングカメラ用レンズとLiDAR

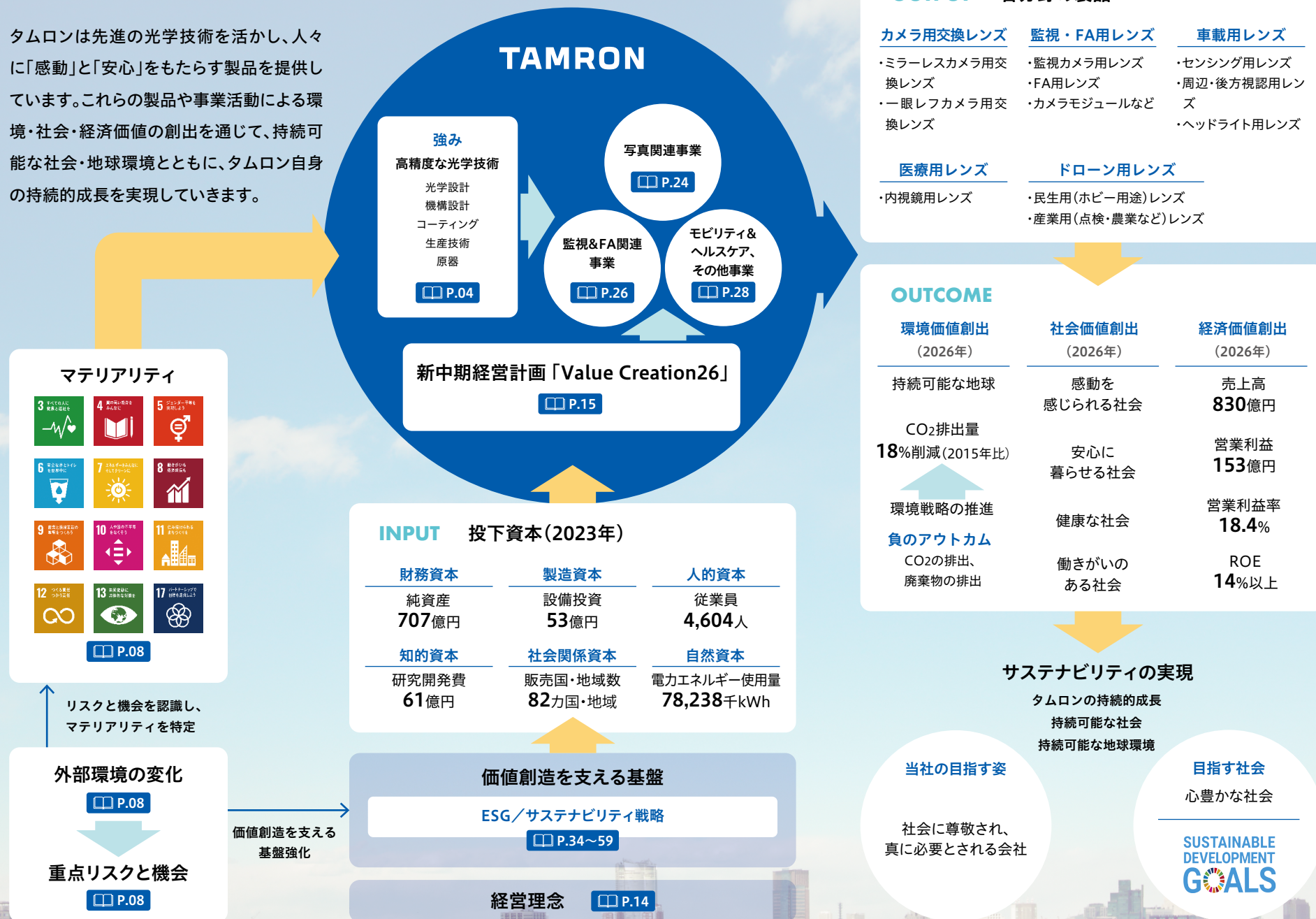
カメラで撮影したデジタル画像データをもとに、車両や歩行者、交通標識などを認識して的確に自動車を制御する「車載用センシングカメラ用レンズ」とレーザー照射に対する散乱や反射光を測定することで物体までの距離を測定できる光センサー技術「LiDAR」で安全な自動運転に貢献します。



車載用レンズ

価値創造プロセス

タムロンは先進の光学技術を活かし、人々に「感動」と「安心」をもたらす製品を提供しています。これらの製品や事業活動による環境・社会・経済価値の創出を通じて、持続可能な社会・地球環境とともに、タムロン自身の持続的成長を実現していきます。



マテリアリティ

当社グループでは、外部環境の変化にともなう中長期的なリスク・機会を検討し、当社が社会とともに持続的に成長するための事項を「マテリアリティ」として特定しております。特定したマテリアリティはCSR委員会にて承認を受け、取締役会へ報告を行っております。マテリアリティは外部環境等の変化を踏まえ、今後も継続的に見直しを行っていきます。

マテリアリティの特定プロセス

外部環境 外部環境の変化にともなう重点リスクと機会 マテリアリティの特定

- ビジネスモデルの変化
- 地政学的リスク
- 気候変動対応
- ESG投資の活性化
- 人権の尊重
- ワークスタイル／ライフスタイルの変化
- 情報セキュリティリスクほか



社会からの要請、期待

- SDGs達成への貢献
- ESG投資の高まり
- コーポレートガバナンス・コードへの対応
- 社会・顧客からの要請ほか

要因	リスク	機会
・デジタルカメラ市場の縮小 ・写真関連事業への依存 ・特定顧客への依存	・デジタルカメラ市場の全体的な縮小 ・写真関連事業、特定顧客への依存	・ミラーレスカメラ市場の成長 ・産業向けカメラ市場の成長
・急速な技術革新	・先端技術の開発または製品への適用が予定通り進展しなかった場合の競争力低下	・画期的な技術開発による成長機会の獲得
・新規事業への投資 ・M&Aなどへの投資	・新規事業への研究開発投資や設備投資の失敗	・強固な財務体質を活かしたM&A等への積極対応 ・新たな経営資源獲得による成長基盤の構築
・製品需給	・製品の価格変動、過剰／過小在庫 ・硝子材料の調達不足	
・地政学的なリスク	・グローバルな政治・社会・経済動向によって受ける様々な影響	
・気候変動、地球環境問題	・国内外の工場の罹災による生産活動への影響 ・炭素税や再生可能エネルギー購入費用負担	・脱炭素社会への早期対応による受注機会の増加
・人材確保	・有能な人材の採用・確保の競争激化による新規採用や雇用継続への影響	・優秀な人材の雇用による成長機会の獲得
・人権侵害への加担	・人権侵害への直接、間接的加担による不買運動、法律違反による企業活動への影響	
・交換レンズ事業特有のリスク	・カメラとのアンマッチングによる不具合発生	
・製品の品質と安全	・製品の品質低下や欠陥によるブランド価値の棄損	
・情報セキュリティ	・コンピューターウイルス等での情報システムの破損による企業情報や個人情報の流出	
・コンプライアンス	・知的財産権侵害や贈賄をはじめとした法令違反や社会規範を逸脱した企業行動による企業価値の棄損	

[詳細はコチラ](#)

マテリアリティ

感動と安心の創造



新しい光の創造



持続可能な地球への貢献



人的資本経営の推進



信頼と持続的成長の基盤構築



[詳細はコチラ](#)